

<最近思うところ>バーチャルを超えて

わたしたちの人生はみな、世の中という大海原に航海する帆かけ船にもにっています。

あるときは志という帆を高く掲げ、天空の星を道標に、潮や恒常の風に乗って、目的地に順調に進みゆくこともできます。また、あるときは嵐に帆を潜め、満身の五感を研ぎ澄まし、嵐が過ぎ行くのを堪え忍ぶことも必要になるかもしれません。

これからみなさんは、青春という夢や悩みの多い、人生の中でもっとも変化ある時期をむかえます。そして、今まで以上に自分の責任や役割を考えながら、実社会により近づいていく時期といえます。現実の社会は窓越しの景色とは違い、風が肌身にあたります。バーチャルリアリティー(仮想現実)の世界とは異なります。

現実の壁を突き破るには、多少の傷つき、痛みを伴うことがあるかもしれません。外界の確かな温もりや厳しさ知ることにより、表面的な快樂ではない、他の人の痛みや喜びが分かる人間になっていきます。バーチャルな社会では、生身の自分には結果責任が具体的にはできません。しかし、現実では、自分のとった行動には何らかの責任を伴ってきます。これからは、より実社会に近づく訳ですが、単に興味本位に走ることなく、今まで以上に自分の行動に対する責任や社会での役割を考えいくことになるのです。

そして、混沌とした現実の中、自分の志をたもち続けるには、経験に裏付けられた知恵や、粘り強さ、チャレンジ精神が必要であります。これは、未来を信じる、互いを信じあうという姿勢、あせらず、たゆまず、一所懸命にというひたむきな態度から生まれるものと思っています。時には悩み、迷いができます。そんな時、家族や友人、先生や先輩など頼れ、安らげる人とのつながりを、いろんな機会を活かし、大切にしていってください。

(中学校卒業式に際して。平成9年3月)

<最近思うところ>「志」をもとう

今の時代、志を持つことが大切だと思っています。野心と志は違います。野心が他者を排除したうえでの利己的欲望に発するのに対し、志は自分や他の人の救済、向上を目指した意志の現れだと思えます。

若きみなさんの清き志は、みなさんの未来でもあります。なぜなら、未来を拓のはあなた自身であるからです。みなさんの志が未来をひらくのです。どうかみなさん、若いときに志を立て、それを大切に守り、追いかけてみてください。

山の石清水の一滴が、川の流れとなり、大海につながるように、よい方向に未来が開けてくると思います。また、そのようになるように努力するのが、われわれ大人の役目でもあります。

志を立てるということは、世の中での自分の使命を自覚することでもあります。
清新1中は、荒川河口近くにあります。ここでは潮の満ちひき、雨水、塩水が行き来します。山と海とをつなぐ位置でもあります。上流の清冽な流れも、世の暮らしの汚れを背負いながら、海に流れ出で、その大きな懐でゆっくりと浄化されます。その水も、外洋で雲となり、大気運動でまた山にも雪や雨をふらし、地球的規模で巡りめぐっています。卒業生の皆さんは、清新1中、この名のとおり、深山の流れのごとき清冽な志と、汚れを清め新たに作る、豊穡で大きな海のごとき気概をもって、これからの自分たちそれぞれの道に向かってください。

皆さんが、世界各地で、そしてまた、地域の隅々まで思いを巡らしながら、あらゆる分野で活躍してもらいたい。そんな思いで、両親や先生方は今日まで頑張ってきたのではないのでしょうか。これからも、その思いは変わらないと思います。自ら立てた志を捨てることなく、皆でまた再会することを楽しみに、現実の場を互いにかんばりぬいていきましょう。
(中学校卒業式に際して。平成9年3月)

<最近思うところ>「らしさ」を「かたち」にしよう

春の陽射しにあわせるかのように、木々の芽も膨らみを増してきました。その後のあるべき姿がここに凝縮されているかと思うと自然の造形力の巧みさに驚かされます。草木がその草木らしくあり、鳥がその鳥らしくある。これらは自然のなせる業ですが、人は人らしくあるとともに、その人らしさ、自分らしさを大切にしています。らしさの表現とは自分の思いを形にすることであり、また、他との関わりの中から自己を再認識する作業でもあると思います。

思いを形にする。それは言葉や表情、態度等にでます。その言葉も、語源がことだま、言の葉にあるといわれるように、言葉は心の現れでもあります。こころという形なき思いを言葉によって他の人に伝えるためには、互いにわかりあえる表現作法、型を身につける必要があります。型を身につけてはじめて形にすることが可能のように思います。そして、それはより多くの人とのまごころの対話によって、より美しくしていけるものと思います。

春芽吹く草木も、寒さを知ってはじめて、春の温もりに感応します。わたしたち風景の会としましてもそれぞれの住む地域で、みどり豊かで、温もりと輝きのある言の葉が満ち溢れたそれぞれのふるさとづくりをめざして、「らしさ」を「かたち」にする地道な活動を展開していきたいと思います。
(平成9年3月)